

**情報通信審議会 情報通信技術分科会 ITU部会
衛星・科学業務委員会（第20回）
議事概要**

- 1 日時 令和元年5月13日（月）15:00～16:30
- 2 場所 総務省 8階 第4特別会議室
- 3 議題
 - (1) 衛星・科学業務委員会（第19回）議事概要（案）について
 - (2) ITU-R SG4関連会合（2018年6-7月）の報告書（案）について
 - (3) ITU-R SG7関連会合（2018年9月）の報告書（案）について
 - (4) ITU-R SG4関連会合（2019年6-7月）への日本寄与文書（案）について
 - (5) ITU-R SG4関連会合（2019年6-7月）の外国等寄与文書の審議表（案）について
 - (6) ITU-R SG4関連会合（2019年6-7月）の対処方針（案）について
 - (7) ITU-R SG7関連会合（2019年5-6月）への日本寄与文書（案）について
 - (8) ITU-R SG7関連会合（2019年5-6月）の外国等寄与文書の審議表（案）について
 - (9) ITU-R SG7関連会合（2019年5-6月）の対処方針（案）について
 - (10) その他
- 4 配付資料
 - 資料 衛・科-20-1 衛星・科学業務委員会（第19回）議事概要(案)
 - 資料 衛・科-20-2 ITU-R SG4関連会合（2018年6-7月）の報告書(案)
 - 資料 衛・科-20-3 ITU-R SG7関連会合（2018年9月）の報告書(案)
 - 資料 衛・科-20-4 ITU-R SG4関連会合（2019年6-7月）への日本寄与文書(案)
 - 資料 衛・科-20-5 ITU-R SG4関連会合（2019年6-7月）の外国等寄与文書の審議表(案)
 - 資料 衛・科-20-6 ITU-R SG4関連会合（2019年6-7月）の対処方針(案)
 - 資料 衛・科-20-7 ITU-R SG7関連会合（2019年5-6月）への日本寄与文書(案)
 - 資料 衛・科-20-8 ITU-R SG7関連会合（2019年5-6月）の外国等寄与文書の審議表(案)
 - 資料 衛・科-20-9 ITU-R SG7関連会合（2019年5-6月）の対処方針(案)
 - 参考資料 1 衛星・科学業務委員会 衛星業務WG審議報告
 - 参考資料 2 ITU-R SG4関連会合（2019年6-7月）の開催案内
 - 参考資料 3 ITU-R SG7関連会合（2019年5-6月）の開催案内
 - 参考資料 4 ITU-R SG4関連会合（2019年6-7月）の日本代表団一覧（予定）
 - 参考資料 5 ITU-R SG7関連会合（2019年5-6月）の日本代表団一覧（予定）
 - 参考資料 6 今後のITU-R SG4及びSG7関連会合の開催予定
 - 参考資料 7 衛星・科学業務委員会 構成員名簿

（※下線部資料については非公開。○印資料については関係者限りの配布。）

5 出席者（敬称略、順不同）

主 査：加藤 寧

構成員：藍沢 志津、阿部 宗男、大石 雅寿、河合 宣行、神頭 知美、
佐々木 幸男、佐藤 祐子、平 和昌、高田 政幸、橋本 明、
日野 和恵、三谷 政昭

関係者：篠原 笑子、正源 和義、亀井 雅、福井 裕介、三留 隆宏、
岩間 司

事務局（総務省基幹・衛星移動通信課）：豊嶋、菅原、杉本、服部、郷藤、
中川

6 議事概要

開会に際し、主査から、構成員に加え関係者も専門的立場から審議に参加するとの説明があった。

(1) 衛星・科学業務委員会関連WG審議報告

参考資料1に基づき、河合構成員（衛星業務WG主任）から、衛星業務WGの活動報告がなされた。

(2) 衛星・科学業務委員会（第19回）議事概要について

資料 衛・科20-1に基づき、衛星・科学業務委員会第19回会合の議事概要（案）について事務局から説明があり、特段の意見がある場合は5月17日（金）までに事務局あて連絡することとなった。

(3) ITU-R SG4関連会合（2018年6-7月）の報告書（案）について

平成30年6月25日（月）から7月14日（土）まで開催されたWP 4A、WP 4B及びWP 4C会合について、資料 衛・科20-2に基づき、事務局から報告があった。

(4) ITU-R SG7関連会合（2018年9月）の報告書（案）について

平成30年9月18日（火）から9月26日（水）まで開催されたWP 7A、WP 7B、WP 7C、WP 7D及びSG4会合について、資料 衛・科20-3に基づき、事務局から報告があった。

(5) ITU-R SG4関連会合（2019年6-7月）への日本寄与文書（案）について

次回SG4関連会合（6月19日～7月5日）に向けて提出を予定している日本寄与文書（案）（WP4A：4件、WP4C：1件）について審議がなされ、これらの寄与文書（案）について、以下の議論の後、承認された。

- ・ RR AP30/30A 4.1.20に関する考察（4A/J-1）

資料衛・科20-4-1に基づき、正源氏より説明があった。
特段の質疑なし。

- ・ 21GHz帯放送衛星業務の受信地球局用アンテナの測定パターン (4A/J-2)

資料衛・科20-4-2に基づき、亀井氏より説明があった。
特段の質疑なし。

- ・ 新報告草案ITU-R M.[IMT&BSS COMPATIBILITY]の修正提案 (4A/J-3)

資料衛・科20-4-3に基づき、福井氏より説明があった。
特段の質疑なし。

- ・ 新報告草案ITU-R S./M.[ESIM-MS]に向けた作業文書の修正提案 27.5-29.5GHz帯における、静止FSSネットワークで運用される ESIMと既存・計画のある移動業務との共用・共存について (4A/J-4)

資料衛・科20-4-4に基づき、福井氏より説明があった。
主なやり取りは、以下のとおり。

橋本構成員：本寄与文書の対象となっている新報告草案が今回会合で承認されず、作業文書というステータスのままということになれば、レポート自体は次会議に持ち越しになるのか。

福井氏：作業文書のステータスについて、今回会合でレポート案として、承認されることが望ましいが、難しいと考えている。

河合構成員：この議題に限らず、WP4A、WP4Cでは作業文書の状態で残っている文書がある。WRCで議論するための検討材料として承認されるのが望ましいが、作業文書のものがPDNレポートの段階を飛ばして、レポート案としてSG4に上程することも可能性としてはあると思う。日本として積極的にこの文書を2段階アップするかどうかは提案していない。

橋本構成員：WRC決議に入っているということは、RRの一部に入ることもあるのか。

河合構成員：今回のStudyは、航空ESIMIについてPFD制限に加えて高度制限も必要かという検討をしている。議題1.5の決議案では既にPFD制限も高度制限も要素として入っており、本寄与文書は決議案に入っていないものを新たに提案するものではなく、補強する位置付けである。

橋本構成員：WRC決議に記載されているのは結果だけであり、導出根拠などの補強材料としてこのレポートがあるので、

Studyの詳細を入れておきたいという主旨か。

河合構成員：そうである。

- ・ 作業文書ITU-R報告草案M.[MSS&IMT-ADVANCED SHARING]の変更提案、異なる国における1980-2010MHz及び2170-2200MHz帯の地上系及び衛星系IMT間の共存及び両立性の検討（4C/J-1）

資料衛・科20-4-5に基づき、三留氏より説明があった。
主なやり取りは、以下のとおり。

大石構成員：本寄与文書は課題9.1.1に関係しているということなので、「Subject」欄に記載してはどうか。また、第4章の修正提案の部分も、見づらくなるから修正履歴をなしとしていると説明していたが、ハイライトを付けるなど配慮した方が会合での議論が活性化するのではないか。

三留氏：ご意見を踏まえ、Subjectには議題を定義する決議を記載する。第4章については、7ページの第4章のタイトルのすぐ下のNoteに修正履歴なしとした旨を記載している。修正履歴をなしとしている理由としては、過去複数会合において提案が行われたが、審議時間がなく、各国からの提案内容が重ねられ、修正履歴が複雑化した経緯があったためである。

大石構成員：了解した。審議がスムーズに進むようになるのであれば、構わないため、会合では修正履歴なしとした旨説明をお願いしたい。

(6) ITU-R SG4関連会合（2019年6-7月）の外国等寄与文書の審議表（案）について

令和元年5月13日時点で公表されている外国入力文書の審議表（案）について、資料 衛・科20-5に基づき事務局から説明があり、承認された。

(7) ITU-R SG4関連会合（2019年6-7月）の対処方針（案）について

対処方針（案）について事務局から資料 衛・科20-6に基づき説明をし、対処方針（案）に基づき対処することが承認された。

(8) ITU-R SG7関連会合（2019年5-6月）への日本寄与文書（案）について

次回SG7関連会合（5月28日～6月5日）に向けて提出を予定している日本寄与文書（案）（WP7A：1件、WP7C、WP7D：1件）について審議がなされ、これらの寄与文書（案）について、以下の議論の後、承認された。また、WP7Aに設置されているコレスポンスグループへも我が国から文書の入力を予定しているため、説明があった。

- ・ 新レポート草案ITU-R TF.[UTC]に向けた作業文書への修正提案 (7A/J-1)
資料衛・科20-7-1に基づき、岩間氏より説明があった。
特段の質疑なし。
- ・ 新レポート草案SM.[275-450GHZ_SHARING]の改訂提案 (7C/J-1、7D/J-1)
資料衛・科20-7-2に基づき、大石氏より説明があった。
主なやり取りは、以下のとおり。

橋本構成員：WP1Aに寄与文書は提出したのか。もしまだ提出していないならWP1A、WP7C、WP7Dで提出する寄与文書を統一してはどうか。最初に作成されたWP1Aへ提出予定の寄与文書には、WP7C及びWP7Dについては記載がないため、本寄与文書に差し替えることはできないか。事務局の意見を聞きたい。

事務局：こちらとしては問題ない。WP1Aを所管している国際周波数政策室に確認した上で回答したい。

橋本構成員：必ずしもそうすべきというわけではない。もし別にするなら、WP7C、WP7Dに提出する寄与文書のカバーレターに、WP1Aに提出した文書番号を参照するようにしたらよいかと思う。

河合構成員：今回、WP7C会合、WP7D会合、WP1A会合は同時期に開催されるということだが、本寄与文書の手続きとしては、WP7CからWP1Aにリエゾン文書を送り、WP1AからSG1に上程することになるのか。

大石構成員：本日の委員会で本寄与文書の提出が承認されたら、WP7C、WP7D、WP1Aの議長に話を通し、ジョイントセッションを開くことを希望する。それが難しければリエゾン文書を、いつのセッションまでに出せるか等、議長と話をして進めたい。

事務局：参考までに、WP7C会合は5月29日から6月4日まで、WP7D会合は5月28日から31日まで、WP1A会合は5月28日から6月5日まで開催される。

加藤主査：それでは、本寄与文書の中身についてはここで承認を行い、WP1Aに同じものを提出するかは確認の上問題なければカバーレターの修正を行うということによいか。

大石構成員：他の委員会で既に承認されたものを、ここで修正することは決められないと思う。総務省の中でどうするか調整してほしい。

事務局：メール審議は可能かと思うが、各委員会で事務局が分かっているもので、他の事務局と確認する必要がある。本委員会とし

ては前向きに対応したい。

大石構成員：寄与文書をメールで提出する際に、他のWPの議長をCCに入れることで、関連する寄与文書が提出されたことが他のWPに伝わる。

加藤主査：それでは、ここでは承認の手続きはとらずに、のちほどメール審議ということか。

事務局：本寄与文書の内容に関しては意義なしと思われるため、内容はここで承認ということで、WP1Aへの寄与文書に関しては、別途メール審議か報告を行う。

- ・ WP7Aに設置されているコレスポネンスグループへの入力文書
岩間氏より説明があった。
特段の質疑なし。

(9) ITU-R SG7関連会合（2019年5-6月）の外国等寄与文書の審議表（案）について

令和元年5月13日時点で公表されている外国入力文書の審議表（案）について、資料 衛・科20-8に基づき事務局から説明があり、承認された。

(10) ITU-R SG7関連会合（2019年5-6月）の対処方針（案）について

対処方針（案）について事務局から資料 衛・科20-9に基づき説明をし、対処方針（案）に基づき対処することが承認された。

(11) 今後のスケジュールなど

事務局から、ITU-R SG4関連会合への出席、ITU-R SG7関連会合への出席及び構成員名簿への変更について、適宜連絡していただきたい旨の照会があった。

以上